

INFORMATION

JCMU公開講座のお知らせ

滋賀県国際協会では、地域社会の国際化と国際理解への貢献を目的として、ミシガン州立大学連合日本センターと連携して様々なテーマの公開講座を実施しています。

前回の講座(7月16日(土)開催)は、『お子さんの家庭における効果的な英語学習』をテーマにクリス・ガースJCMU英語プログラム主任教官にワークショップの手法を使って楽しいお話をいただきました。子ども連れの方も多く参加者には楽しんでいただけたようです。“ぜひ我が家でも実践したい”という声もいただきました。



次回の公開講座は、12月はクリスマスの月ということで『英語に親しもう！クリスマスミニコンサート』を開催します。

日時: 12月10日(土) 13:30~14:30

場所: JCMUセンター棟 エントランスホール

どうぞお気軽にご参加ください。(要予約)

※詳細は当センターHPをご覧ください。

※今後の講座についてご要望のテーマがあれば、(公財)滋賀県国際協会 彦根事務所(編集・発行元) までお知らせください。

2017春 JCMU国内留学

ミシガン州立大学連合日本センターでは、「日本の中のアメリカ」としての環境を生かし、アメリカからの留学生との共同生活を体験しながら、集中的な英語学習を行う“JCMU国内留学”を開催します。

【開催予定日】

Aコース: 2017年2月6日(月)~2月17日(金)

Bコース: 2017年2月20日(月)~3月3日(金)

Cコース: 2017年3月6日(月)~3月17日(金)

【募集対象者】

基準の英語基礎力*を有する 18 歳以上の日本の大学生(短大・大学院・高等専門学校 4・5 年生、専門学校生含む)、もしくは高校を卒業し今後海外留学を目指している者で、当センター規則を順守できる者。(日本に留学している英語を母国語としない留学生も含まれます。) ※TOEIC ® 450 ~ 700 点程度

詳しくは当センター HP またはパンフレットをご覧ください。

JCMU英語プログラム 2017冬季受講生募集!!

【期 間】

2017年1月10日(火)~3月18日(土)

★定員に余裕のある場合は、
学期途中でも受講可能です。

【教 室】

ミシガン日本センター (彦根市松原町)
草津市立市民交流プラザ (草津市野路)

【クラス】

●一般コース※高校生以上対象

Runway

English Steps (3レベル)

What's Going On?

Journeys in English



●帰国子女クラス

※概ね小学生~中学生対象

●イングリッシュ・ステップス Jr.

※中学生対象

JCMUこども英語教室

1歳半のお子さまよりご受講いただけます。

● First English (1歳半~)

● Pre-K (年少~)

● Kids 1 (年中~)・2・3 (小1~)

まずは体験レッスンをご受講ください。
(体験レッスンのご予約は、お電話またはメールにて承っております。)

ミシガン州立大学連合日本センター (通称: JCMU)

〒522-0002 滋賀県彦根市松原町1435-86

TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356

URL <http://www.jcmu.net>

E-mail sifah@mx.bw.dream.jp

■編集・発行 (公財) 滋賀県国際協会 彦根事務所

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 62
2016 秋

Director's Report

Benjamin McCracken, JD

Resident Director of the Japan Center for Michigan Universities

ベンジャミン・マクラケン
ミシガン州立大学連合日本センター所長

It is hard to believe that summer is over and that fall has arrived in full force, but the evidence is all here, cool breezes, nikuman, hot drinks in the vending machines, and a new group of JCMU students arriving in Hikone. This is always a special time of year for me, since I arrived in Japan for the first time in the fall as well. Memories always come flooding back.



Unlike Japan, fall is the traditional time of year for Americans to start school and to think about doing something new. This year JCMU is committed to doing many new things to help bring it closer to the people of people of Shiga. It is JCMU's hope that through outreach activities, it can create stronger ties with the local community and create opportunities for JCMU students to meet with local people.

One area JCMU is expanding its efforts is its Wednesday Nights at JCMU. These programs include games, acting, and conversation skill building. Wednesday Nights at JCMU are free and open to anyone. Almost all the activities are team based allowing local people the chance to interact with JCMU student in a fun and enjoyable way. Currently we have about 20 attending each event, but we would love to have more.

Another program JCMU started in the spring and renewed for the fall is its free TOEFL iBT preparation course for students studying at the University of Shiga Prefecture and Shiga University. This course is also free for students taking other courses at JCMU. This course was developed to help students wanting to participate in study abroad and exchange opportunities with universities in Michigan.

I'm sure this will continue to be an exciting year at JCMU. I hope many people can come and participate in the exciting things we are doing and interact with the student living on campus.

知らぬ間に夏が過ぎ、秋が一気に深まってまいりました。巷では北風が吹き始め、肉まんが恋しくなり、自動販売機の飲み物がホットに変わり、そして次の新しい学生達が彦根にやってきたことからみても、季節の移り変わりは明らかです。私が初めて日本にやってきたときも秋でした。秋は私にとって永遠に特別な時期です。今でも当時の思い出がいつでもあふれんばかりによみがえってきます。

日本と違い、アメリカ人にとっての秋は、学校がスタートし、何か新しいことを始めてみたくなる季節です。今年のJCMUは 滋賀の人々にとって、より身近な存在になれるような取り組みを行っています。アウトリーチ活動を通じて、地域社会との関係強化を図り、学生達が地元の人々と出会う機会を創出することがJCMUの願いなのです。

いまJCMUが力を入れてがんばっているのが、水曜日の夜“ウェンズデイ・ナイツ”というプログラムで、ゲームあり、演劇の要素あり、会話スキル向上も図れるものです。

この“ウェンズデイ・ナイツ”は誰でも自由に参加できる無料のプログラムです。このプログラムでのすべてのアクティビティは、参加した地域の方々が楽しく学びながらJCMUの学生と触れ合える機会となっています。現在、各回あたり20名ほどが参加していますが、もっとたくさん来てほしいと思っています。

もうひとつの目玉のプログラム(これは春に始めて秋にリニューアルしています)として、滋賀県立大学・滋賀大学で学ばれている学生の方向けの無料のTOEFL iBT受験準備コースを用意しています。このコースはJCMUで語学講座を受けられている学生の方々も無料で受講できます。そもそもこのコースは、海外での勉強、ミシガンの大学と交換留学を希望する学生を後押しするために設けています。

私はこれらの試みがJCMUをエキサイティングな年にするものと確信しています。ここに多くの人が来て、わくわくするプログラムに参加し、このJCMUキャンパスに暮らしている学生と対話することができるよう切に願っています。

JCMU学生の「金曜プロジェクト」体験記

～金曜プロジェクトとは～

JCMUの日本語学習プログラムの一環で行っているプロジェクト。金曜日に実施するので「金曜プロジェクト」と呼んでいます。彦根市や近隣の住民の方々にご協力いただき、学生の日本語能力を実際の場面で試しつつ、日本文化を様々な側面から体験します。主な活動として、「生け花」「茶道」などの文化体験の他、インタビュー活動、また彦根市内の小学校訪問を行っています。

Christopher Hyek
Michigan State University

Naginta club in Hikone had made a visit to JCMU to give a small practice and history lesson on naginatas. We were taught to do two different types of strikes Men (or head strike) and Sune (shin strike) as well as the proper positions that we should be in when we do these strikes. After a demonstration we were allowed to also use the practice weapons where we did the same thing as the mentors. After the practice sessions were over they had allowed us to show off our skills in a staged combat with them. Although we were nowhere near as good as them, they had given us a great lesson on the weapons, how to use them, and how much discipline is needed to use naginatas.

Similar to the lesson we had on Naginata's, we were given lessons on other traditional types of Japanese activities as well. Some of these activities were tea ceremony rituals, flower arrangement, how to properly wear a kimono/yukata as well as a kendo and karate demonstration and lesson. These activities were all generously given by people in the community to help us better understand some of the more traditional parts of Japanese culture. Sometimes we are even directed or recommended to other activities based on our interests in these activities/skills. And for students who are third or fourth years we are even given practice in translating what the presenters are saying to those in the first and second years in order to double up on cultural as well as Japanese practice. Overall these small lessons are a concise way to show off as much as possible to those who wish to know more about the cultural aspects of Japan while they are taking a break from studying Japanese.



クリストファー・ハイク
ミシガン州立大学

先日、彦根市のなぎなたクラブが、JCMUに来られて簡単な演技の指導をしていただくとともになぎなたの由来・歴史について教えていただきました。

私たちは2つの異なるタイプの打ち込み(面は頭部への打ち込み。すねへの打ち込み)とその時にとるべき適切な構えも教わりました。

模範演技の後、私たちは練習用の武具を身に付け、師範代たちと同じ動きをなぞりました。

練習の時間が終わり、次に師範代たちと模擬試合を通して腕前をみせることとなりました。

私たちの腕前は彼らの足元に及びもしなかったものの、武具の使い方やなぎなたにはどれだけたくさんの規律があるのかということがよくわかりました。

(この金曜プロジェクトでは)私たちはこのなぎなたで受けた授業と同様に、他に様々な日本の伝統的な活動を体験しました。それらの中に“剣道”“空手”の模範演技と練習、それら以外にも“茶道”・“華道”・着物・ゆかたの“着付け”もありました。

これらの活動は、地元の方々の“日本の伝統的な部分をよりよく知ってもらいたい”という気持ちにより実現されたものです。

私たちは他にも興味に応じていろいろな活動に参加する機会を提供してもらっています。

そして、このプロジェクトにおいては、三回生と四回生の学生が、講師が話している内容を一回生と二回生の学生に翻訳することで日本語の勉強に加えて日本文化についても勉強する機会になっています。

全体的にみて、日本語の勉強の合間の休みに、これらの小さな体験を積み重ねていくことで、より多く日本文化の様々な側面を知ることができる簡潔な方法だといえます。



SSC REPORT JCMU学生支援コーディネーター 原田泰彦



皆さんこんにちは。めっきり寒くなってまいりました今日この頃、皆さん元気にお過ごしでしょうか？

今回から数回に分けて「JCMUの学生が日本で好きなこと」と題しまして、レポートを書かせていただきます。今回は、ゲームなどの「娯楽系」についてお話ししようと思います。



まず第一に、ゲームセンターが生徒の間でとても人気です。よくうちの学生が「アーケードに今から行ってきます」といって出ていきます。私は奈良育ちなので、アーケードというと近鉄奈良駅前の「ひがしむき商店街」や、彦根なら「ベルロード」などのショッピングストリートに行くのかな？と想像していたのですが、話をよく聞いてみると、「アーケード」とは「ゲームセンター」のことなのですね。彦根駅向こうのイオンタウンゲームセンター、同駅前アルプラザ、国道8号線沿いの「ゲームディーノ」、南彦根ビバシティの「ナムコ」などによく行くようです。UFOキャッチャーや、ガチャガチャ(今もそういうのでしょうか)でキャラクターアイテムを獲得したり、その他多数のいろいろなゲームで楽しい時を過ごすようです。あと、写真を加工できるプリクラでみんなで変身写真を撮るのも大人気ようです。落書き調のメッセージを入れられたり、不自然なまでに「キュート」になれるプリクラが大人気なようです。

ゲームセンタ(アーケード)に行ってゲームをせず、家でコンピューターゲーム・ネットゲームをする生徒も男子学生を中心として多くいます。時々、テレビ部屋や各自の部屋から急に複数の大声が聞こえてきて「一体なに？」って思うことが多いのですが、皆さん、部屋の中で、任天堂やソニーのコンピューターゲームや、ネットゲームを集まってやっているようです。日本でしか売っていない機器や、ソフトもあるようで、それを日本にいる間に買い込む生徒も多いです。何度かゲームの画面を見せてもらったことがあります。私が小さいころのファミコンの二次元的な「スーパーマリオ」の画面とは全然違う、とてもしリアルな3次元世界がネットゲームには広がっていました。私は、まったくゲームに疎く、学生に勝てる見込みがないので、「原田さん、対戦しましょうよ。」と言われても断ってばかりいます。

また、「日本語に興味を持った理由は日本の漫画やアニメが好きだからです」という生徒は相当数います。アメリカでも日本の漫画、アニメはとても人気で、定番どころの「ポケットモンスター」から「NARUTO」「OnePiece」まで、JCMUの学生の間でも大変人気があり、本場の日本で、漫画やキャラクターグッズを揃える学生もたくさんいます。9月に京都で「京都国際マンガ・アニメフェア」というのが開催されたようですが、JCMUからも多数の生徒が参加したようです。またアニメ・コスプレも人気です。毎年10月末には、JCMUではキッズ・一般ハロウィーンパーティを開催するのですが、その際には学生のほとんどが仮装をします。大体、4、5人は漫画やアニメのキャラクターの格好をして、参加します。

今回は、JCMU生が好きな、ゲームセンターなどの「娯楽系」についてお話ししましたが、次回は生徒が大好きな(?)「日本語の学習」にまつわるお話について書きたいと思っています。冬は本番に入りましたが、どうぞ皆様もくれぐれもご自愛ください。

